

令和6年の火災発生状況について

1 出火状況

(1) 出火件数は18件減少

令和6年1月から12月末までの火災は、57件でした。

構成市別にみると、宇部市が37件、山陽小野田市が20件で、令和5年と比較し宇部市は13件減少、山陽小野田市は5件減少しています。

(2) 建物火災は全火災の56%

火災種別でみると、建物火災が32件と最も多く、次いでその他の火災が21件、車両火災が3件、林野火災が1件でした。建物火災32件のうち、住宅・共同住宅・併用住宅が15件、工場が8件、複合用途、倉庫、事務所等が各2件、飲食店、店舗、寺院が各1件ずつでした。

2 死傷者の状況

火災による死者は1人、負傷者は6人で、令和5年と比較し死者は1人減少、負傷者は増減ありません。

構成市別にみると、宇部市が負傷者4人、山陽小野田市が死者1人、負傷者2人でした。

死者・負傷者は、建物火災及び車両火災によるものです。

3 出火原因（速報値）

出火原因別にみると、「たき火」が16件と最も多く、次いで「配線器具」が4件でした。

4 その他

令和6年は「配線器具」を原因とする火災が4件で令和5年と比較し4件増加しました。

「配線器具」が原因となる火災は、コンセントの差込口に溜まったホコリに着火するトラッキング現象や電気製品の配線が重量物の下敷きになり、配線の一部が断線し、その部分が発熱したことにより出火したなどがあります。

配線器具からの出火を防ぐために、「コンセントの差込口にホコリを溜めない」、「配線を重たい物の下に通さない」など日頃から火災予防を心掛けましょう。

また、令和6年の本消防組合管内の建物火災による死者は1人でした。

住宅用火災警報器は、就寝中の火災による逃げ遅れを防ぐため宇部・山陽小野田消防組合火災予防条例で「寝室に煙式の住宅用火災警報器を設置」することが義務付けられていますが、本消防組合管内の住宅用火災警報器の設置率は86.2%（令和6年6月時点）となっています。火災から命を守るために、住宅用火災警報器を設置していない方は、早期に設置してください。

なお、台所は義務設置ではなく、設置を推奨する場所となっていますが、台所に住宅用火災警報器を設置する場合は、誤報を防ぐため、熱式のを推奨します。

宇部・山陽小野田消防組合

令和7年1月14日現在

令和6年(1月～12月)火災発生状況(火災種別ごと)

	建物	車両	林野	航空機	船舶	その他	合計
件数	32	3	1			21	57
死者(人)	1						1
負傷者(人)	4	2					6
損害額(千円)	124,609	425				503	125,537

焼損面積

建 物		林野(a)	その他(m ²)
焼損床面積(m ²)	焼損表面積(m ²)		
3,686	217	1	9,038

火災原因別火災発生状況

火災原因	建 物	車両	林野	航空機	船舶	その他	合 計	死傷者		損害額(千円)
								死者	負傷者	
たばこ	1						1			1
こんろ	1						1			71
かまど										
風呂かまど	1						1			3,517
炉										
焼却炉										
ストーブ	1						1		2	9,721
こたつ										
ボイラー	1						1			19
煙突・煙道										
排気管		2					2			212
電気機器	1	1				1	3		3	215
電気装置	1						1			66
電灯・電話等の配線	1						1			1,048
内燃機関										
配線器具	4						4			26,689
火あそび										
マッチ・ライター	1						1			15,569
たき火	1		1			14	16			41
溶接機・切断機	1						1			
灯火	1						1	1		6,566
衝突の火花										
取灰										
火入れ										
放火	1						1			248
放火の疑い	1					2	3			2
その他	8						8		1	3,357
不明・調査中	6					4	10			58,195
合 計	32	3	1			21	57	1	6	125,537

損害額、焼損面積及び出火原因については、すべての火災原因調査が完了していないため確定値ではありません。

宇部市

令和7年1月14日現在

令和6年(1月～12月)火災発生状況(火災種別ごと)

	建物	車両	林野	航空機	船舶	その他	合計
件数	18	2	1			16	37
死者(人)							0
負傷者(人)	2	2					4
損害額(千円)	48,034	335				503	48,872

焼損面積

建物		林野(a)	その他(m ²)
焼損床面積(m ²)	焼損表面積(m ²)		
1,372	40	1	5,900

火災原因別火災発生状況

火災原因	建物	車両	林野	航空機	船舶	その他	合計	死傷者		損害額(千円)
								死者	負傷者	
たばこ	1						1			1
こんろ										
かまど										
風呂かまど										
炉										
焼却炉										
ストーブ										
こたつ										
ボイラー	1						1			19
煙突・煙道										
排気管		1					1			122
電気機器	1	1				1	3		3	215
電気装置	1						1			66
電灯・電話等の配線	1						1			1,048
内燃機関										
配線器具	4						4			26,689
火あそび										
マッチ・ライター										
たき火	1		1			10	12			41
溶接機・切断機										
灯火										
衝突の火花										
取灰										
火入れ										
放火	1						1			248
放火の疑い	1					2	3			2
その他	3						3		1	85
不明・調査中	3					3	6			20,336
合計	18	2	1			16	37		4	48,872

損害額、焼損面積及び出火原因については、すべての火災原因調査が完了していないため確定値ではありません。

令和6年(1月～12月)火災発生状況(火災種別ごと)

	建物	車両	林野	航空機	船舶	その他	合計
件数	14	1				5	20
死者(人)	1						1
負傷者(人)	2						2
損害額(千円)	76,575	90					76,665

焼損面積

建 物		林野(a)	その他(m ²)
焼損床面積(m ²)	焼損表面積(m ²)		
2,314	177		3,138

火災原因別火災発生状況

火災原因	建 物	車両	林野	航空機	船舶	その他	合 計	死傷者		損害額(千円)
								死者	負傷者	
たばこ										
こんろ	1						1			71
かまど										
風呂かまど	1						1			3,517
炉										
焼却炉										
ストーブ	1						1		2	9,721
こたつ										
ボイラー										
煙突・煙道										
排気管		1					1			90
電気機器										
電気装置										
電灯・電話等の配線										
内燃機関										
配線器具										
火あそび										
マッチ・ライター	1						1			15,569
たき火						4	4			
溶接機・切断機	1						1			
灯火	1						1	1		6,566
衝突の火花										
取灰										
火入れ										
放火										
放火の疑い										
その他	5						5			3,272
不明・調査中	3					1	4			37,859
合 計	14	1				5	20	1	2	76,665

損害額、焼損面積及び出火原因については、すべての火災原因調査が完了していないため確定値ではありません。